

北九州市国家戦略特区 区域会議資料

資料 5



OECDより
「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」
に選定される（2018年4月23日）

アジア地域で初めて選定



国より「SDGs未来都市」及び
「自治体SDGsモデル事業」に
選定される（2018年6月15日）



SDGs未来都市 北九州市
「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、
信頼される「グリーン成長都市」へ



ていたん&ブラックていたん



平成30年8月27日

北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンターの設置

北九州市では、高度な産業技術である自動車の自動運転、小型無人機及び電波利用の実証実験の支援を強化するため、国と共同で「北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」を設置し、関係府省庁、道路・土地管理者、地元関係者等との調整を行う等、支援機能の充実を図る。

【これまでの取組例】

【自動車の自動運転】



自動運転バス・一般車両公道実証

【小型無人機】



インフラ点検実証

3次元地図と通信技術を活用した自動飛行実証

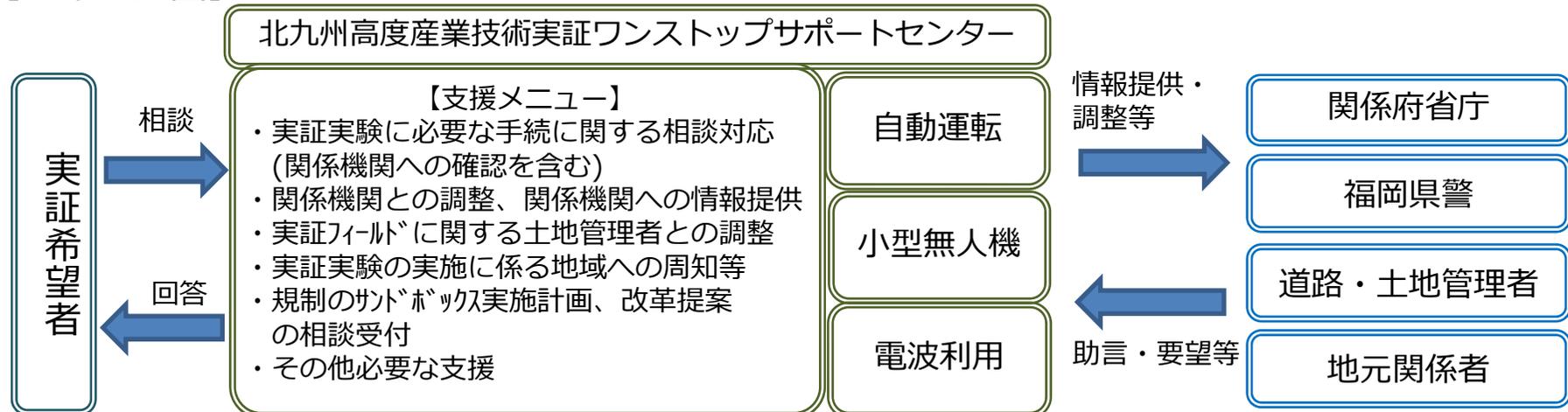
【電波利用】



L PWA見守り実証

ドローン監視レーダー実証

【スキーム図】



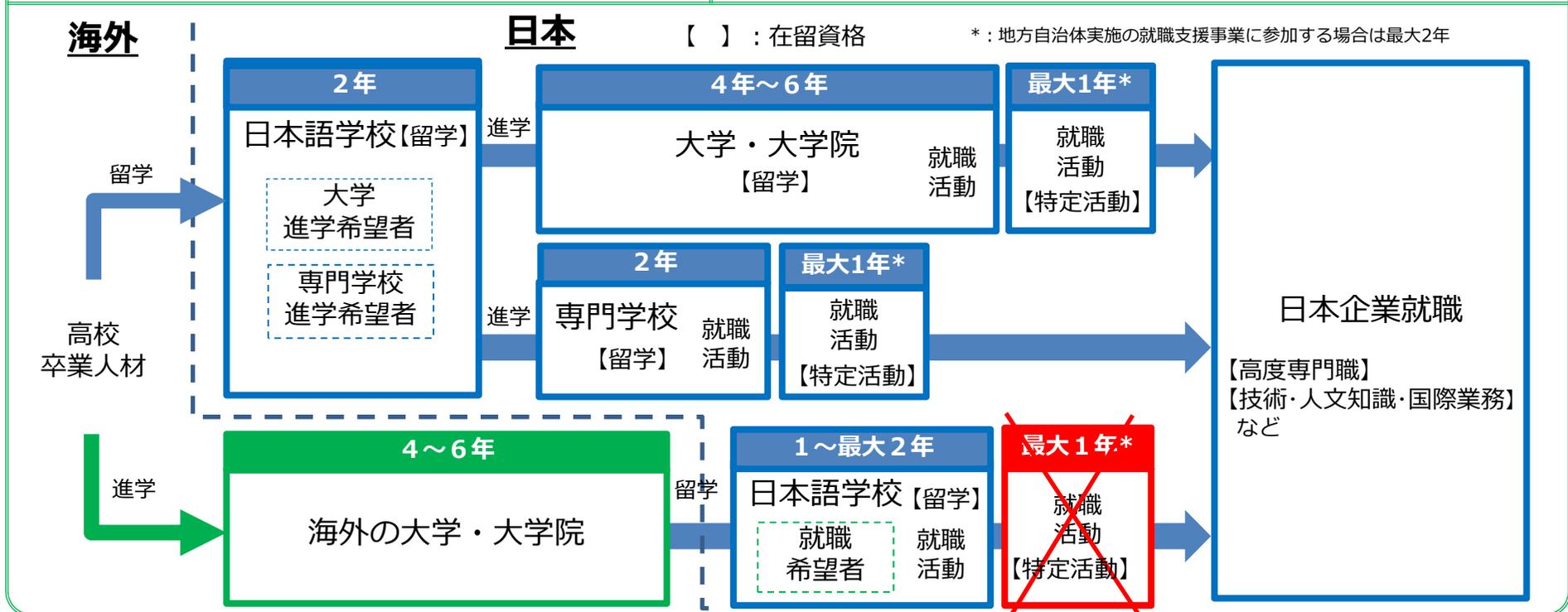
近代日本の産業革命の地・北九州市をフィールドに第4次産業革命を実現！

【背景】

[未来投資戦略 2018] 2-3. 外国人材の活用推進
高度外国人材の「卵」である優秀な外国人留学生の国内就職率の向上に向け、外国人学生の呼び込みから就職に至るまで一貫した対応を行うとともに、留学生と産業界双方のニーズを踏まえた効果的なマッチングを図る。

【現状と課題】

○海外の大学・大学院を卒業後に日本での就職を目指して来日した留学生が、日本語学校卒業後に就職活動の継続を希望する場合、在留資格「特定活動」への切替えによる在留期間の延長は認められていない。
○日本語学校在学中に採用通知が得られなかった場合、「帰国」あるいは就職活動を継続するために「進学」している。



【規制緩和提案】

海外大学・大学院卒の留学生が、日本語学校卒業後も就職活動継続を希望する場合、日本の大学・大学院・専門学校卒の留学生と同様に、在籍校の推薦状を添えて入国管理局に申請すれば、在留資格を切替え、在留期間の延長を可能とする。

【効果】

- 日本での就職を目指して来日する優秀な外国人留学生の増加！
- 海外で「高度な専門性」、日本で「日本語力」を身につけた「高度外国人材」等の日本国内就職率の向上！
- 産業都市・北九州市における理工系エンジニア等求人企業と留学生の就職マッチング促進！